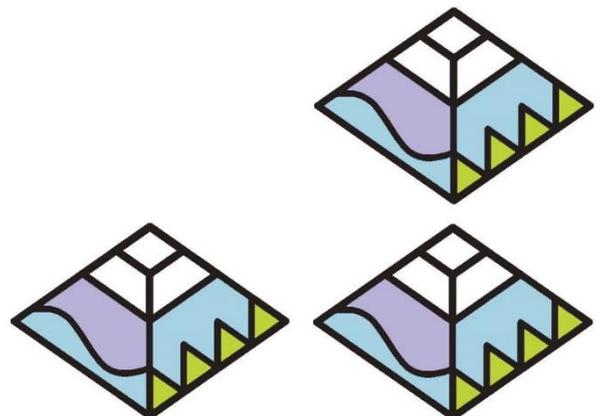
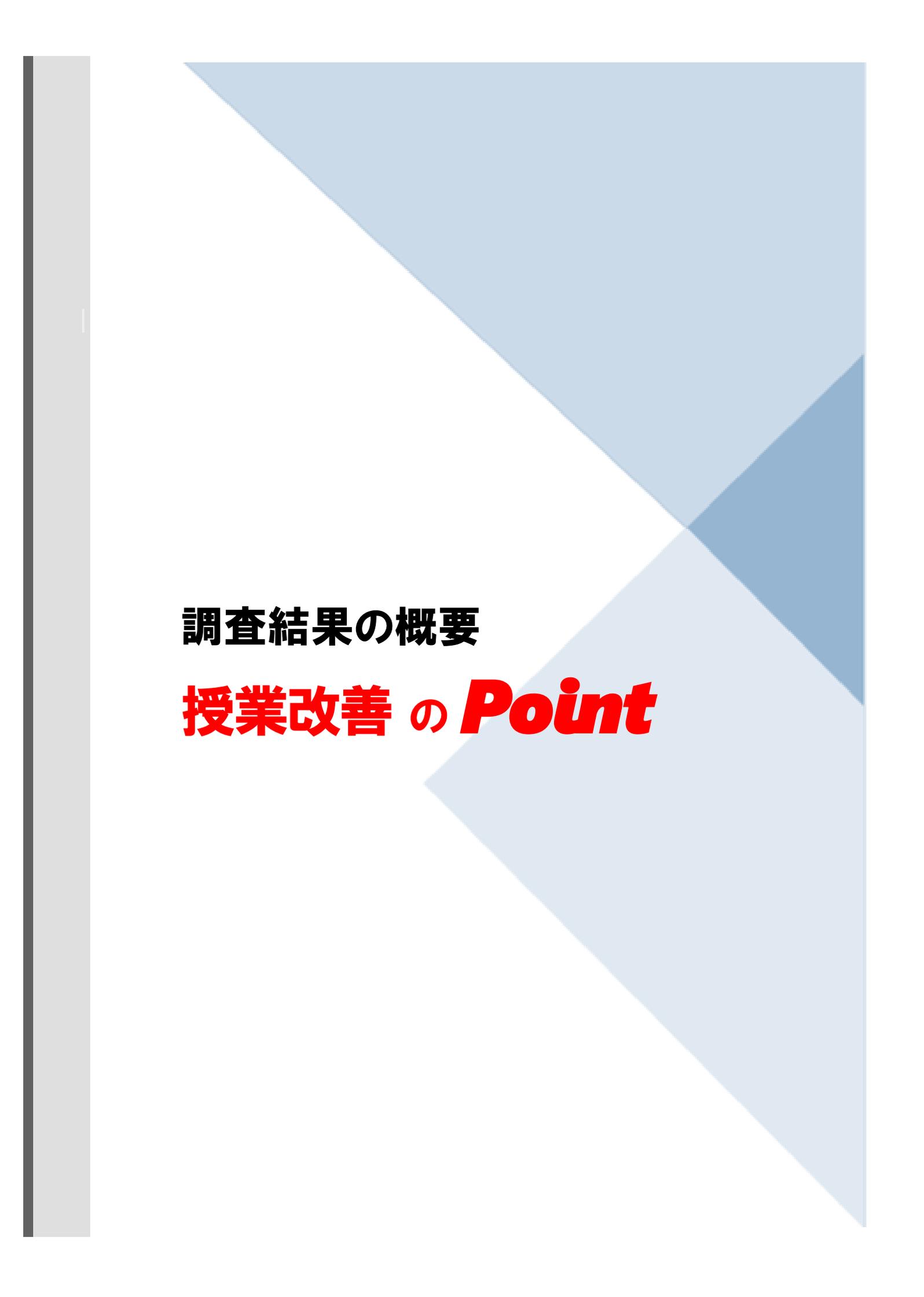


山梨県学力把握調査





調査結果の概要

授業改善の *Point*

山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 国語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5538	24	58.5	54.8	3.7

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	51.6	47.5	4.1
	情報の扱い方に関する事項	49.0	44.2	4.8
	我が国の言語文化に関する事項	70.1	62.9	7.2
	話すこと・聞くこと	69.9	68.0	1.9
	書くこと	61.2	58.4	2.8
	読むこと	53.8	49.4	4.4
観点	知識・技能	54.3	49.5	4.8
	思考・判断・表現	59.9	56.5	3.4
解答形式	選択式	60.2	56.7	3.5
	短答式	61.3	55.1	6.2
	記述式	49.7	46.2	3.5

設問別正答率												
通し 番号	解答 形式	観点		領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	推定 全国 値 (%)	全国との差 (ポイント)
		知	思	言葉	情報	言語	話聞					
1	選択		○						目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しているかどうかをみる。	93.7	92.8	0.9
2	選択		○						必要に応じて質問しながら話の内容を捉えているかどうかをみる。	82.9	79.5	3.4
3	記述		○						話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかをみる。	37.1	36.1	1.0
4	選択		○						自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えているかどうかをみる。	57.4	52.8	4.6
5	選択		○						相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫しているかどうかをみる。	78.3	78.6	-0.3

6	選択	○								地域の図書館についてのレポートを書く	目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝えたいことを明確にしているかどうかをみる。	68.0	65.5	2.5
7	選択	○		○						文法・語句に関する事項	情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。	49.0	44.2	4.8
8	選択	○								地域の図書館についてのレポートを書く	読み手の立場に立って、文章を整えているかどうかをみる。	58.3	54.4	3.9
9	記述	○									根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫しているかどうかをみる。	55.8	54.5	1.3
10	選択	○									読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしているかどうかをみる。	62.9	59.3	3.6
11	選択	○		○						文法・語句に関する事項	小学校で学習した漢字を正しく使っているかどうかをみる。	54.2	51.3	2.9
12	記述	○								言葉の使い方に関する文章を読む	目的に応じて必要な情報に着目して要約しているかどうかをみる。	28.7	25.6	3.1
13	選択	○									事実と意見の関係について叙述を基に捉えているかどうかをみる。	49.5	44.3	5.2
14	選択	○									文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えているかどうかをみる。	64.0	60.7	3.3
15	選択	○										43.6	40.1	3.5
16	選択	○									文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっているかどうかをみる。	78.1	72.4	5.7
17	記述	○										77.2	68.5	8.7
18	短答	○		○							文法・語句に関する事項	単語について理解しているかどうかをみる。	52.5	47.3
19	選択	○		○							文節の関係について理解しているかどうかをみる。	35.2	33.5	1.7
20	選択	○								文学的な文書を読む	登場人物の心情について、描写を基に捉えているかどうかをみる。	60.3	57.5	2.8
21	選択	○									表現の効果について、根拠を明確にして考えているかどうかをみる。	38.0	33.3	4.7
22	選択	○									場面と場面を結び付けて、内容を解釈しているかどうかをみる。	45.1	41.9	3.2
23	短答	○				○				文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解しているかどうかをみる。	70.1	62.9	7.2
24	選択	○		○							漢字の部首について理解しているかどうかをみる。	64.7	57.9	6.8

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(言葉)言葉の特徴や使い方に関する事項 (情報)情報の扱い方に関する事項
(言語)我が国の言語文化に関する事項 (話聞)話すこと・聞くこと (書)書くこと
(読)読むこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
23	文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
1	学級をよりよくするために話し合う	目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
2		必要に応じて質問しながら話の内容を整えているかどうかをみる。		選択
5		相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫しているかどうかをみる。		選択
16	言葉の使い方に関する文章を読む	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっているかどうかをみる。		選択
17				記述

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号3」に関連した具体的な授業例の提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
3	37.1	36.1	1.0	思考・判断・表現	記述
問題の内容	学級をよりよくするために話し合う				
出題のねらい	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	話題や展開を捉えながら話し合うために、何についてどのような目的で話し合っているかといった、話し合いの流れを生徒が常に意識できるような機会を設定することが考えられる。また、話し合いの展開に応じて、自分の発言と他者とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えや集団の考えをまとめられるように、学習活動の中で話し合いの内容を記録したり、考えを整理したりすることが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
12	28.7	25.6	3.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容	言葉の使い方に関する文章を読む				
出題のねらい	目的に応じて必要な情報に着目して要約しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	目的に応じて必要な情報に着目して要約するために、生徒が要約を行う目的を確認できる場面を学習活動の中に設定することが大切である。また、要約したものが目的に沿っているかを考え、さらに必要な情報を取り出したり捉えたりしたりすることができるかを生徒が意識することが大切である。他者と協働的に学習に取り組む機会を設定することで、生徒が自分の要約した内容を俯瞰的な視点から振り返ることができると考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
19	35.2	33.5	1.7	知識・技能	選択
問題の内容	文法・語句に関する事項				
出題のねらい	文節の関係について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	文節の関係について理解を深めていくために、文節の関係について学習する機会を単発的に行うだけでなく、[思考力、判断力、表現力等]の各領域の学習過程における指導との関連を意識的に図ることが必要となる。「A話すこと・聞くこと」における「表現、共有(話すこと)」、「B書くこと」における「考えの形成、記述」「推敲」の指導事項と関わりをもたせながら、知識として定着できる学習過程を考えることが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて

自分の考えをまとめることができる生徒

課題がある設問（通し番号3）

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかを見る問題。

分析と課題

話し合いに参加していても、話題を意識しながら話し合うことに課題がある。また、他者の発言を結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。

1

学年の学習で…

日々の学習における改善・充実

- 言語活動例
「話し合いをするときに大切なこと」を考えよう。

言語活動
を通して

- 指導事項
〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等
A才 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。

資質・能力
を育成する

話し合いを踏まえ、話題についての自分の考えを振り返る機会を設定する

- 学習の流れ
- ① 学習の見通しをもつ。
- ② 資料や提供された情報から、話題を確認する。
→ 話題について話し合いをしている様子の導入部分のみをワークシートなどで例示する
- ③ 【話し合いの一部（導入部の例）】の続きを考え、話し合う。
→ ワークシート内の話し合いの続きをグループ等で話し合いながら考える
- ④ 話し合ったことを基に、自分の考えをまとめる。

本時は「〇〇」という話題についてグループで話し合いました。
グループで話した内容を踏まえて、話題についてあなたが考えたことをまとめましょう。



教師が振り返る観点を明らかにして、生徒が学習を振り返る機会を設定する

- 学習の流れ
- ⑤ 前時の学習を振り返る。
→ 前時④【話し合いを踏まえた自分の考え】を受け、「話し合いの中の誰の発言と結びつくか明確でないもの」「話題とのつながりが具体的でないもの」を取り上げワークシート等で例示
- ⑥ 「【話し合いを踏まえた自分の考え】の例」のまとめ方について分析する。
→ 例示を参考に、自分の考えのまとめ方を意識して話し合う
- ⑦ 前時の話し合いで分かったことを踏まえ、自分の生活で意識したいことについて話し合う。
- ⑧ 話し合ったことを基に、自分の考えをまとめる。学習を振り返る。

話し合ったことを踏まえて、これからの話し合いでどのように生かしていきたいか。**学習を通して気づいたこと**を振り返ってみましょう。



<日常的に実践できること…>

- ・ 話し合いの話題を可視化して提示する
- ・ 自分の考えの基になる発言や話し合いの内容をメモさせる
- ・ 話し合いの序盤や発言がある程度出た段階で話し合う目的を確認する
- ・ 振り返りの観点を明確にする

ここが
Point

自分の考えが話し合いの話題や内容とどのように結びついているか、そのつながりが分かるようにまとめられたかを振り返ろう！

山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 数学

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5533	35	58.3	58.8	-0.5

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	数と式	60.3	61.2	-0.9
	図形	61.0	64.2	-3.2
	関数	58.7	63.4	-4.7
	データの活用	50.8	44.0	6.8
観点	知識・技能	61.9	60.8	1.1
	思考・判断・表現	50.5	54.3	-3.8
解答形式	選択式	62.2	63.4	-1.2
	短答式	56.1	54.6	1.5
	記述式	27.6	30.5	-2.9

設問別正答率												
通し 番号	解答 形式	観点		領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	推定 全国 値 (%)	全国 との 差 (ポイント)
		知	思	数式	図形	関数	デ 活					
1	選択	○	○					正の数・負の数	絶対値について理解しているかどうかをみる。	74.6	78.4	-3.8
2	選択	○	○						負の分数と負の整数の大小を比較することができるかどうかをみる。	38.6	42.9	-4.3
3	選択	○	○						素因数分解について理解しているかどうかをみる。	82.8	78.4	4.4
4	選択	○	○					文字式	1次式の減法の計算ができるかどうかをみる。	67.9	55.7	12.2
5	選択	○	○						分子が1次式である分数の乗法の計算ができるかどうかをみる。	80.3	79.4	0.9
6	短答	○	○					1次方程式	移項について理解し、簡単な1次方程式を解くことができるかどうかをみる。	65.7	67.4	-1.7
7	短答	○	○						かっこを含む1次方程式を解くことができるかどうかをみる。	55.2	50.3	4.9
8	短答	○	○						分数を含む1次方程式を解くことができるかどうかをみる。	37.6	40.9	-3.3
9	短答	○	○					正の数・負の数	かっこを含む正負の数の減法の計算ができるかどうかをみる。	80.3	79.4	0.9
10	短答	○	○						累乗を含む正負の数の計算ができるかどうかをみる。	81.8	76.5	5.3
11	短答	○	○						正負の数の四則混合の計算ができるかどうかをみる。	53.6	54.2	-0.6

12	選択	○	○			文字式	問題文の数量の関係を正しい不等式に表すことができるかどうかをみる。	50.5	58.5	-8.0
13	短答		○	○		1次方程式	タイルの縦の長さを、比例式を使って求めることができるかどうかをみる。	56.8	64.9	-8.1
14	短答		○	○			所持金についての方程式の x が何を表しているかを求めることができるかどうかをみる。	46.2	53.3	-7.1
15	短答		○	○			ケーキの個数についての方程式の x が何を表しているかを求めることができるかどうかをみる。	32.0	37.6	-5.6
16	選択	○			○		比例・反比例	x 、 y の比例関係を表す表から比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。	71.3	75.1
17	選択	○			○	x 、 y の値が与えられたとき、それを満たす反比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。		55.9	62.5	-6.6
18	選択	○			○	反比例のグラフから反比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。		45.8	53.9	-8.1
19	選択		○		○	グラフの傾き方から、問題文の条件にあうグラフを選ぶことができるかどうかをみる。		51.0	55.7	-4.7
20	選択		○		○	日常生活の場面で比例の考え方が利用できることを理解し、問題解決に必要な情報を選ぶことができるかどうかをみる。		69.5	70.0	-0.5
21	選択	○			○	平面図形	合同な2つの図形をみて、どのような移動をさせたのかを理解しているかどうかをみる。	78.7	76.6	2.1
22	選択	○			○		三角形の角の二等分線をかくために必要な作図を選ぶことができるかどうかをみる。	83.5	84.6	-1.1
23	記述		○	○		空間図形	面と辺の位置関係について正しく理解し、問題文のことがらがいつも正しいとはいえないことを説明することができるかどうかをみる。	23.6	30.1	-6.5
24	選択		○	○			ある図形の回転体の見取図を選ぶことができるかどうかをみる。	72.0	75.9	-3.9
25	選択		○	○			四角錐の投影図を選ぶことができるかどうかをみる。	70.3	74.0	-3.7
26	選択		○	○			円錐の展開図から、その表面積を求める式を選ぶことができるかどうかをみる。	68.7	71.2	-2.5
27	選択	○			○		底面積が等しく、高さも等しい円錐と円柱の体積について、正しく説明した文章を選ぶことができるかどうかをみる。	51.1	54.7	-3.6
28	選択	○			○		球の体積を求める式を選ぶことができるかどうかをみる。	39.9	46.8	-6.9
29	選択	○			○		データの散らばりと代表値	ヒストグラムの代表値の関係について、正しく理解している。	32.8	31.7
30	選択	○			○	度数分布表のある階級の度数を、ヒストグラムから読み取ることができるかどうかをみる。		89.8	83.2	6.6
31	選択	○			○	あるデータの中央値を求めることができるかどうかをみる。		58.8	51.5	7.3
32	短答	○			○	累積度数について理解しているかどうかをみる。		44.0	26.1	17.9
33	短答	○			○	問題文のヒストグラムの階級の幅を読み取ることができるかどうかをみる。		64.3	50.3	14.0
34	選択		○		○	問題文の表やヒストグラムを正しく読み取ることができるかどうかをみる。		34.2	34.2	0.0
35	記述		○		○	平均値についての説明の正誤を判断し、その判断の理由を正しく説明することができるかどうかをみる。		31.7	30.8	0.9

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(数式)数と式 (図形)図形 (関数)関数 (デ活)データの活用

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	正の数・負の数	絶対値について理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
3		素因数分解について理解しているかどうかをみる。		選択
9		かっこを含む正負の数の減法の計算ができるかどうかをみる。		短答
10		累乗を含む正負の数の計算ができるかどうかをみる。		選択
5	文字式	分子が1次式である分数の乗法の計算ができるかどうかをみる。		短答
16	比例・反比例	x, y の比例関係を表す表から比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。		選択
21	平面図形	合同な2つの図形をみて、どのような移動をさせたのかを理解しているかどうかをみる。		選択
22		三角形の角の二等分線をかくために必要な作図を選ぶことができるかどうかをみる。		選択
30	データの散らばりと代表値	度数分布表のある階級の度数を、ヒストグラムから読み取ることができるかどうかをみる。		選択
24	空間図形	ある図形の回転体の見取図を選ぶことができるかどうかをみる。		思考・判断・表現
25		四角錐の投影図を選ぶことができるかどうかをみる。	選択	

【課題がある設問】

★次のページに「通し番号35」に関連した具体的な授業例の提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
15	32.0	37.6	-5.5	思考・判断・表現	短答
問題の内容	1次方程式				
出題のねらい	ケーキの個数についての方程式の x が何を表しているかを求めることができるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	具体的な場面における問題を方程式を活用して解決する際、何を文字で表すかによって方程式が作りやすかったり、つくりにくかったりすることに気付けるように指導することが大切である。このことは、本設問を使って授業を行う場合、買うケーキの個数と持っていた金額をそれぞれ文字 x で表して方程式をつくり、比較することで確かめることができる。その際、つくった方程式から具体的な事象の数量やその関係を読み取る活動を取り入れることが考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
23	23.6	30.1	-6.5	思考・判断・表現	記述
問題の内容	空間図形				
出題のねらい	面と辺の位置関係について正しく理解し、問題文のことがらがいつも正しいとはいえないことを説明することができるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	観察や操作、実験などの活動を通して、直線や平面の位置関係の捉え方が生かされるような具体的な場面を取り入れることが大切である。直方体ABCD-EFGHの辺を直線、面を平面として、1つの平面に平行な2直線は平行であるかどうか、考察する場面を設定することが考えられる。このとき、直線AB、直線BC、直線CD、直線DAは、すべて面EFGH(平面)に平行である。直線ABと直線CD、直線BCと直線DAは平行であるが、それ以外は垂直であることを確かめることが考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
35	31.7	30.8	0.9	思考・判断・表現	記述
問題の内容	データの散らばりと代表値				
出題のねらい	平均値についての説明の正誤を判断し、その判断の理由を正しく説明することができるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	目的に応じてデータを収集し、コンピュータを用いるなどしてデータを表やグラフに整理し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察できるように指導することが大切である。このとき、データの代表値の適切な使い方について検討し、判断できるようにする場面を設定することが考えられる。また、データの分布全体を確認した上で代表値を用いるようにすることが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

データの分布の傾向を読み取り、判断の理由を 数学的な表現を用いて説明することができる生徒

課題がある設問（通し番号 35）

平均値についての説明の正誤を判断し、その判断の理由を正しく説明する問題

分析と課題

データの分布全体を確認した上で、代表値（平均値）を用いていないことに課題がある。

「データの活用」領域の学習 日々の学習における改善・充実

図書委員会では、読書週間に読書を呼びかける企画をしていて、その際に1日あたりの読書時間の目標を設定して読書習慣をつけてもらいたいと考えている。そこで、普段、生徒がどれくらいの時間を読書に当てているのか調べたいと考え、学年全体にアンケートを実施した。

〔前時〕
図書委員会が実施した読書時間のアンケートを集計し、それを表とヒストグラムに整理した。

作成した表とヒストグラムから、生徒の読書時間の傾向について調べてみましょう。

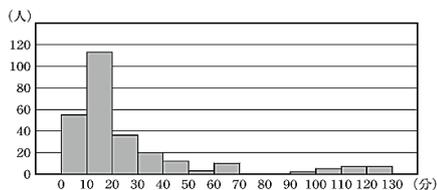
航平さんが作った表

	平均値	中央値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26	15	120	0

航平さん

平均値が26分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ。

桃子さんが作ったヒストグラム



桃子さん

ヒストグラムから、読書時間が20分未満の人が多いといえそうだ。

航平さんと桃子さんの意見を取り上げ、議論する場面を設定

平均値が26分だから、26分ぐらい読書をしている人が多いといえるのかな。

いえないと思う。ヒストグラムを見ると、26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。

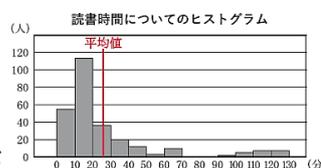
「1日に26分ぐらい読書をしている人が多いといえそうだ」という考えが適切でない理由をヒストグラムの特徴を基に説明してみましょう。



1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではありません。



度数が最大となる階級は10分以上20分未満の階級なので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではありません。



平均値は、かけ離れた値に影響を受けやすいんだね。100分～120分も読書をしている人がいるので、この値に影響を受けているということだね。



この場合は、平均値より中央値の方が代表値として適当なのではないかな。



中央値が15分ということは、学年のおよそ半数の人が、1日の読書時間が15分未満だということがわかるね。



読書週間中の読書時間の目標を何分に設定したらよいのかな。

図書委員

読書週間中は、読書する時間を増やしてほしいから、目標の読書時間を中央値より5分増やした20分に設定してみたらどうかな。



1日あたりの読書時間について、さらに調べてみたいことはありませんか。



データを平日と休日に分けて調べてみたら、何か違いはあるのかな。



データを学年ごとに分けて調べてみるのもいいね。

批判的に考察し判断する機会を設け、

多面的に吟味し合う場面を設定しよう！

ここが
Point

山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5533	32	55.6	56.3	-0.7

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	聞くこと	67.8	65.8	2.0
	読むこと	51.1	53.0	-1.9
	書くこと	50.2	51.7	-1.5
観点	知識・技能	64.7	65.6	-0.9
	思考・判断・表現	42.2	42.7	-0.5
解答形式	選択式	57.2	61.4	-4.2
	短答式	67.4	67.7	-0.3
	記述式	34.5	34.9	-0.4

設問別正答率					問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点		領域					
		知	思	聞	読	書			
1	選択	○		○			85.6	82.2	3.4
2	選択	○		○		リスニング(内容理解)	82.9	80.3	2.6
3	選択	○		○		絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(動作と時間帯)	66.5	68.4	-1.9
4	選択	○		○		リスニング(対話文の応答)	63.3	64.3	-1.0
5	選択		○	○			55.7	57.2	-1.5
6	選択		○	○			52.7	51.6	1.1
7	短答		○	○		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	95.2	93.7	1.5
8	選択		○	○			53.8	50.0	3.8
9	記述		○	○		リスニング(対話文の応答)	54.7	44.9	9.8

10	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(命令文の動詞の形)	54.7	52.6	2.1	
11	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(現在進行形)	61.2	62.2	-1.0	
12	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(一般動詞過去の疑問文)	34.6	39.6	-5.0	
13	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(所有代名詞の形)	77.6	85.0	-7.4	
14	選択	○					語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。	77.1	76.0	1.1	
15	選択	○							79.3	80.3	-1.0	
16	選択	○					さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと資料から、問われている内容を理解しているかどうかをみる。	51.7	54.8	-3.1	
17	選択	○							49.0	50.0	-1.0	
18	選択	○							英文の内容を理解し、適切な絵を選んでいるかどうかをみる。	48.1	48.3	-0.2
19	選択	○							英文から必要な情報を読み取っているかどうかをみる。	23.5	28.3	-4.8
20	選択	○						英文を読み、その概要を捉えて適切な順番で絵を選んでいくかどうかをみる。	24.4	23.9	0.5	
21	選択	○					長文の読み取り	生徒が校内に配信した話の内容を読み、指示語itが指す内容を理解しているかどうかをみる。	65.0	68.6	-3.6	
22	選択	○							生徒が校内に配信した話の内容を読み、適切な絵を選んでいくかどうかをみる。	48.3	49.6	-1.3
23	選択	○							生徒が校内に配信した話の内容を読み、その要点を捉えているかどうかをみる。	46.3	46.2	0.1
24	短答	○							生徒が校内に配信した話の内容を読み、その要点を捉えてメールを書いているかどうかをみる。	24.9	29.0	-4.1
25	短答	○					単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whoを含むbe動詞の疑問文)	73.8	76.9	-3.1	
26	短答	○							文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(助動詞canの疑問文)	53.4	57.2	-3.8
27	短答	○							文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(一般動詞過去の否定文)	77.3	73.8	3.5
28	短答	○							文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whatを含む現在進行形の疑問文)	79.5	75.8	3.7
29	記述	○					場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(How manyを使って数をたずねる)	21.8	35.8	-14.0	
30	記述	○							対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(Whereを使って場所をたずねる)	16.0	28.3	-12.3
31	記述	○					3文以上の英作文	自分の得意なことについて、まとめた内容で説明する文を書いているかどうかをみる。	31.5	31.6	-0.1	
32	記述	○							友達の動画に合わせた紹介文を、英語で相手に伝わるように書いているかどうかをみる。	48.3	34.1	14.2

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(聞)聞くこと (読)読むこと (書)書くこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(禁止)	知識・技能	選択
2		絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(曜日)		選択
13	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(所有代名詞の形)		選択
14	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。		選択
15				選択
25	単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whoを含むbe動詞の疑問文)		短答
27		文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(一般動詞過去の否定文)		短答
28		文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whatを含む現在進行形の疑問文)	短答	
7	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、概要を捉えているかどうかをみる。	思考・判断・表現	短答

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号19」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
12	34.6	39.6	-5.0	知識・技能	選択
問題の内容	語形・語法の知識・理解				
出題のねらい	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(一般動詞過去の疑問文)				
学習の指導に当たって	既習事項について繰り返し触れさせるために、帯活動やSmall Talkを活用することが大切である。その際、生徒のやり取りを指導者がモニタリングし、内容面だけでなく言語面の正確性に関して生徒に共通してみられる課題を取り上げ、中間指導を適切に行うことが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
19	23.5	28.3	-4.8	思考・判断・表現	選択
問題の内容	さまざまな英文の読み取り				
出題のねらい	英文から必要な情報を読み取っているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	必要な情報を英文中から読み取り、得た情報を整理して答える力が求められる。メール、広告、予定表などから、読み手の目的に応じて必要な情報を読み取る言語活動などが考えられる。その際、日常的な話題を取り上げるなど、できるだけ現実に近い場面や生徒との関連性の高い状況を設定することが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
30	16.0	28.3	-12.3	思考・判断・表現	記述
問題の内容	場面に応じて書く英作文				
出題のねらい	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(Whereを使って場所をたずねる)				
学習の指導に当たって	必要な英単語を理解していても、その単語を用いて正しく英文を書くことができていないことが考えられる。話すことの言語活動において、相手の発話に応じ関連した質問や意見を述べるなど対話を継続・発展させる指導を繰り返し行い、単語や文法事項の使い方の理解を深めることが大切である。書くことの言語活動としては、自分が質問したり答えたりしたことを書き出して、文脈や状況に応じて正しく書くことができていないかを確認したり、それらをペアでチェックしたりする活動などが考えられる。				

こんな姿を
目指したい!

置かれた状況を把握し、文章から必要な情報が何かを判断し、読み取ることができる生徒

課題がある設問 (通し番号 19)

置かれた状況などから判断し、必要な情報を読み取っているかどうかをみる問題。

分析と課題

- ・目的・場面・状況を把握することに課題がある。
- ・複数の情報が含まれる文章から、必要な情報が何かを判断し、読み取ること課題がある。



言語活動を通して

日々の学習における改善・充実

文章を読む目的を把握する

What do you want to do for David?
Let's choose the best event to go to with him!

自分の置かれた状況を理解する

What is he going to do this weekend?
He is going to stay at my house.



やり取り

What does he want to do?

He wants some advice!
He wants to join some events in my town.

読み取る視点
を持たせる

What do you and David like?

We love sports, music and cooking.

When will David arrive/leave?

He will arrive on Saturday afternoon.
He will leave before 4 p.m. on Sunday.



こういった情報を読み取らなくてはならないかを把握する

What is the hint?
What are the keywords?

やり取り

We love... Sports
Music Cooking

Day / Time

Saturday afternoon

Sunday before 4 p.m.

文章を読み、必要な情報を判断する

1. **Rugby Gam**
Let's watch together!
Date & Time: Saturday, April 15, 9:30 a.m. - 11:30 a.m.
Place: Midori Park

2. **Flower Market**
You can buy beautiful flowers!
Date & Time: Saturday, April 15, 9:00 a.m. - 4:00 p.m.
Place: Hikari Garden

3. **City Orchest**
You can enjoy a wonderful performance!
Date & Time: Sunday, April 16, 1:00 p.m. - 3:00 p.m.
Place: Tsubomi Hall

4. **"Cook & Eat"**
Let's enjoy cooking and eating!
Date & Time: Sunday, April 16, 4:00 p.m. - 6:00 p.m.
Place: Cooking Room "Wakaba"

3が最も適切なイベントだな...



学んだことを他の状況でも活用する

自分の状況を
確認しよう...!

着目すべきポイント
は...?



ここが
Point

意味のある文脈、言語の働きを意識した使用場面を設定しよう!
既習事項を整理し、他の状況でも活用できる場面を仕組もう!